



青梅市立河辺小学校 学校便り
4月号 No. 649 令和4年5月2日
青梅市立河辺小学校 校長 関谷 望



「ことばときこえの教室」～個に応じた支援（特別支援）の充実～

校長 関谷 望

先日の児童朝会で、「ことばときこえの教室」の教室紹介を行いました。

「ことばときこえの教室」は昭和48年に「ことばの教室」が、次の年に「きこえの教室」が開級しました。それまで西多摩地区で難聴・言語を対象とした指導を行う学級はなかったため、開級は新聞でも取り上げられたそうです。

河辺小「ことばときこえの教室」は西多摩地区の多くの学校からの通級児童を受け入れ、西多摩地区の特別支援教育の柱の一つとして活動してきました。現在でも、河辺小を含む青梅市内の各小学校はもちろん、羽村市、瑞穂町などの周辺市町村の小学校の70名ほどの児童が在籍しています。対象児童は多岐にわたり、「難聴等、きこえにくさ」、「発音の誤り」「吃音」などに加えて、「読み書きの苦手さ」「話し言葉の苦手さ」等がある児童も対象となります。

きこえにくさや発音、言葉等に課題のある児童への指導には、高い専門性が求められます。河辺小「ことばときこえの教室」の教員は、教室内外での研修を充実させて難聴や言語に関する指導のみならず特別支援教育全般の指導力の向上に努め、常に個々の児童に最適な指導ができるように努力しています。

通級をしていない児童にとっては、「ことばときこえの教室」がどんな場所で、どんなことを学んでいるのか、なかなか理解できないので、教室主任の熊坂晃良先生にお願いして、紹介プレゼンテーションを作成してもらい、児童朝会で紹介してもらいました。

熊坂先生は教室紹介に加え、「ことばときこえの教室」に通っている子供たちが、「自分の苦手なことから逃げずに頑張っている子供」「(普段、学習している)教室以外の学習も頑張っている子供」で、とても『頑張り屋さん』であることを教えてくれました。そして、「(通級しているかどうかに関わらず)頑張っている友達を温かく応援してほしいこと」を全校児童へのお願いとして伝えてくれました。

こうした取り組みを通して、児童一人一人が、「自分のことも他者のことも大切に思い、それぞれが自己の向上を目指して頑張り、それを互いに認め合う」ということの素晴らしさを感じてほしいと考えています。

河辺小学校では、「特色ある教育活動」の一つに「特別支援（個に応じた支援）の充実」を挙げ、「ことばときこえの教室」を含め、学校全体で組織的に取り組んでいます。子供が成長していく中では、うまくいかないことやつまずいてしまうこともあるものです。「心配だな」と感じた時にはぜひ担任にご相談ください。特別支援教育コーディネーターやスクールカウンセラー、生活指導部や養護教諭、「ことばときこえの教室」や特別支援教室「くわのき」等々と連携しながら、保護者の方と共に考えていきます。どうぞよろしくお願いたします。